

令和6年度「アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針」の取組状況に係る調査

肉用牛の結果 (詳細版)

調査概要

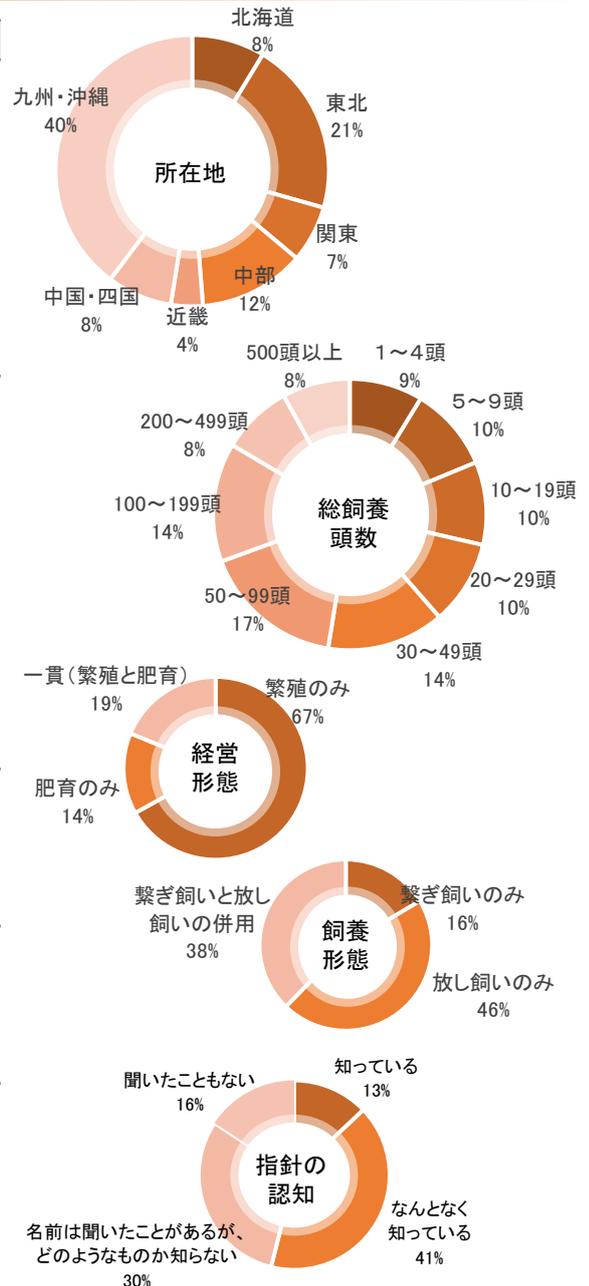
本調査は、農林水産省が令和5年7月に発出した「アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針」の取組状況を把握し、今後の国内におけるアニマルウェルフェアの取組の推進のための基礎データとするため、**令和6年11月～令和7年2月**に全国の肉用牛の生産者を対象に実施したものである。

本調査の実施にあたっては、都道府県畜産主務課及び畜産関係団体（公益社団法人畜産技術協会）の協力のもと**オンラインフォームまたは紙の調査票**を通じて回答を回収し、農林水産省において、各設問の有効回答の積み上げにより集計を実施した。

本調査への**総回答数は、760件**であった。なお、調査結果の集計にあたり、無回答及び無効回答の排除等の処理を行ったため、設問間で回答数が一致しない場合がある。

○ 基本情報

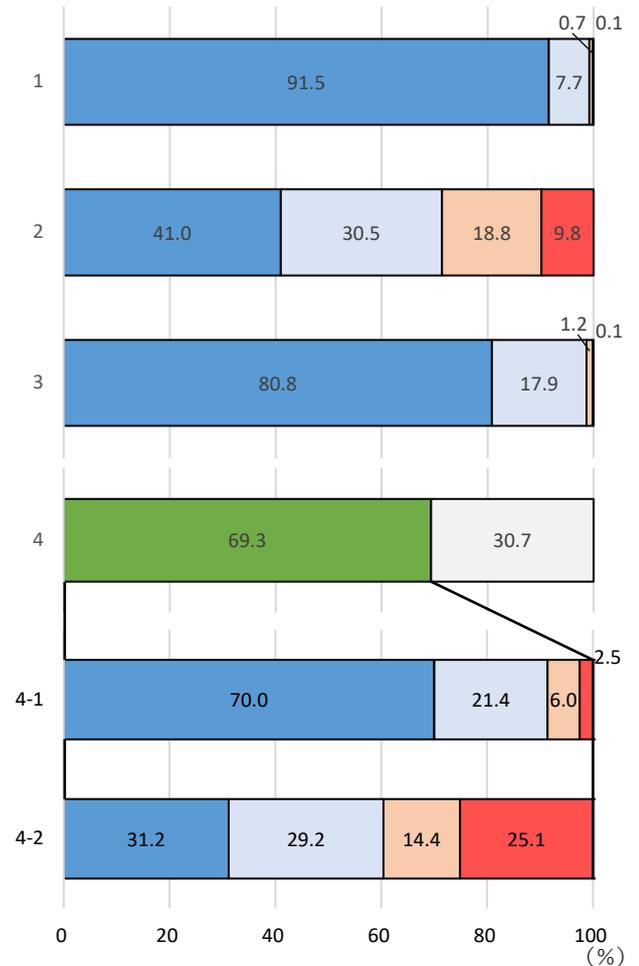
	回答数	割合
1 貴農場の所在地を記載してください。全体	636	100.0%
北海道	55	8.6%
東北地方	132	20.8%
関東地方	43	6.8%
中部地方	80	12.6%
近畿地方	24	3.8%
中国・四国地方	49	7.7%
九州・沖縄地方	253	39.8%
2 貴農場における肉用牛の総飼養頭数について当てはまる選択肢を選択してください。	748	100.0%
1～4頭	65	8.7%
5～9頭	75	10.0%
10～19頭	74	9.9%
20～29頭	75	10.0%
30～49頭	104	13.9%
50～99頭	126	16.8%
100～199頭	106	14.2%
200～499頭	63	8.4%
500頭以上	60	8.0%
3 貴農場の経営形態を選択してください。	746	100.0%
繁殖のみ	499	66.9%
肥育のみ	107	14.3%
一貫（繁殖と肥育）	140	18.8%
4 貴農場の飼養形態を選択してください。	744	100.0%
繋ぎ飼いのみ	122	16.4%
放し飼いのみ	341	45.8%
繋ぎ飼いと放し飼いの併用	281	37.8%
5 令和5年7月に農林水産省が発出した「アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針」について、どのようなものか知っていますか。	744	100.0%
知っている	96	12.9%
なんとなく知っている	305	41.0%
名前は聞いたことがあるが、どのようなものか知らない	226	30.4%
聞いたこともない	117	15.7%



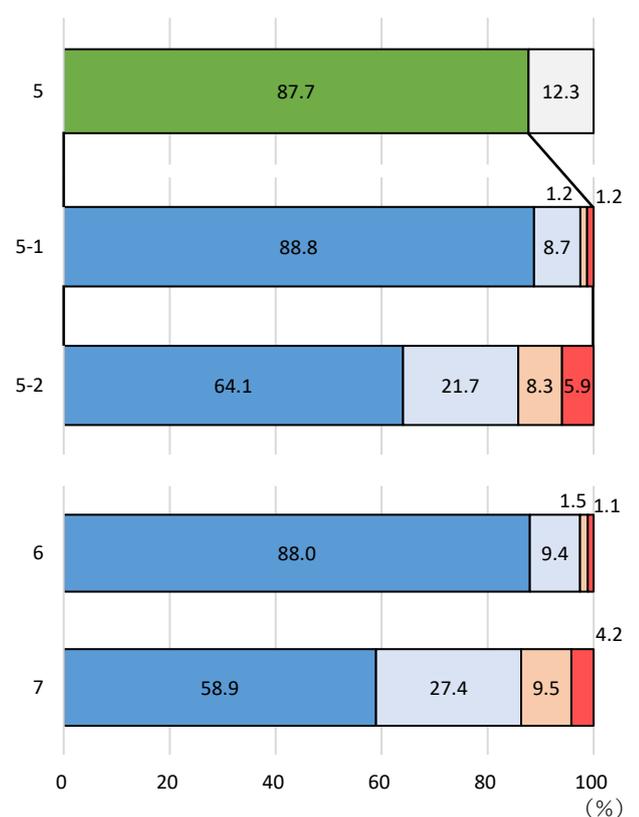
○ 飼養管理に関すること

1 管理方法について

		回答数	割合
1 1日1回以上、牛の飼養環境や健康状態を確認している。	全体	757	100.0%
	あてはまる	693	91.5%
	ややあてはまる	58	7.7%
	あまりあてはまらない	5	0.7%
	あてはまらない	1	0.1%
2 飼養管理に関する記録(日誌や報告書等)をつけている。	全体	752	100.0%
	あてはまる	308	41.0%
	ややあてはまる	229	30.5%
	あまりあてはまらない	141	18.8%
	あてはまらない	74	9.8%
3 牛に不要なストレスを与える突発的な行動や手荒な扱いを避けるとともに、牛を取り扱う際に使用する道具は、不要な痛みを与える可能性のあるものを避けるなど、可能な限り牛を丁寧に扱っている。	全体	755	100.0%
	あてはまる	610	80.8%
	ややあてはまる	135	17.9%
	あまりあてはまらない	9	1.2%
	あてはまらない	1	0.1%
4 除角を行っている。 (「はい」を選択した場合、以下4-1、4-2に回答)	全体	759	100.0%
	はい	526	69.3%
	いいえ	233	30.7%
4-1 除角は、獣医師等※の指導の下、可能な限り苦痛を生じさせない時期と方法を選択している。 ※処置に係る知識と熟練した技術を有する者	全体	514	100.0%
	あてはまる	360	70.0%
	ややあてはまる	110	21.4%
	あまりあてはまらない	31	6.0%
	あてはまらない	13	2.5%
4-2 除角は、触ると角が分かるようになる時期以降で、角が未発達(遅くとも生後2か月以内)に行っている。または、角が発達後に除角する場合、常に獣医師による麻酔薬の投与の下で行っている。	全体	513	100.0%
	あてはまる	160	31.2%
	ややあてはまる	150	29.2%
	あまりあてはまらない	74	14.4%
	あてはまらない	129	25.1%



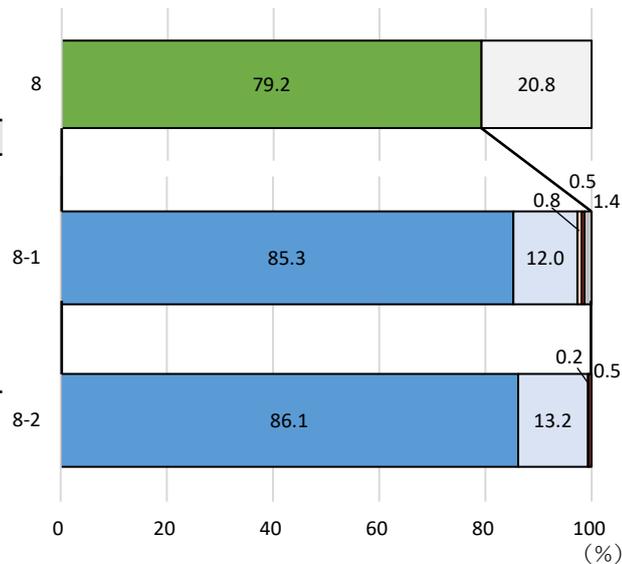
		回答数	割合
5 去勢を行っている。 (「はい」を選択した場合、以下5-1、5-2に回答)	全体	749	100.0%
	はい	657	87.7%
	いいえ	92	12.3%
5-1 去勢は、獣医師等※の指導の下、可能な限り苦痛を生じさせない時期と方法を選択している。 ※処置に係る知識と熟練した技術を有する者	全体	641	100.0%
	あてはまる	569	88.8%
	ややあてはまる	56	8.7%
	あまりあてはまらない	8	1.2%
	あてはまらない	8	1.2%
5-2 去勢は、生後3か月以内に行っている。または、3か月齢を超える場合、なるべく早期に行うとともに、麻酔や鎮静について獣医師の指導を求め、必要と判断された場合は、獣医師による麻酔薬や鎮痛剤の投与の下で行っている。	全体	640	100.0%
	あてはまる	410	64.1%
	ややあてはまる	139	21.7%
	あまりあてはまらない	53	8.3%
	あてはまらない	38	5.9%
6 耳標を装着する際、牛へのストレスを極力減らし、可能な限り苦痛を生じさせないよう、適切な位置に装着している。	全体	741	100.0%
	あてはまる	652	88.0%
	ややあてはまる	70	9.4%
	あまりあてはまらない	11	1.5%
	あてはまらない	8	1.1%
7 こまめに蹄を観察し、定期的に削蹄を行っている。	全体	738	100.0%
	あてはまる	435	58.9%
	ややあてはまる	202	27.4%
	あまりあてはまらない	70	9.5%
	あてはまらない	31	4.2%



○ 飼養管理に関すること

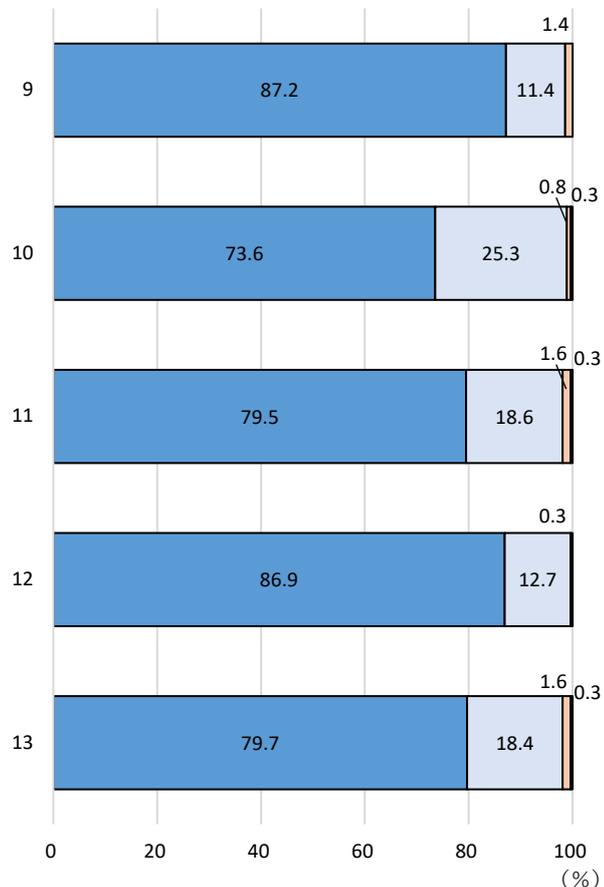
1 管理方法について (続き)

		回答数	割合
8 鼻環を装着している。 (「はい」を選択した場合、以下8-1、8-2に回答)	全体	756	100.0%
	はい	599	79.2%
	いいえ	157	20.8%
		回答数	割合
8-1 鼻環を装着する際、牛へのストレスを極力減らし、可能な限り苦痛を感じさせないように、素早く適切な位置に装着している。	全体	591	100.0%
	あてはまる	504	85.3% (86.4%)
	ややあてはまる	71	12.0% (12.2%)
	あまりあてはまらない	5	0.8% (0.9%)
	あてはまらない	3	0.5% (0.5%)
	非該当(自ら装着していない)	8	1.4%
		回答数	割合
8-2 鼻環を装着した後は、過度に捻る等の不適切な使用はせず、誤って牧柵等に鼻環を引っかけて牛が損傷しないように注意している。	全体	592	100.0%
	あてはまる	510	86.1%
	ややあてはまる	78	13.2%
	あまりあてはまらない	1	0.2%
	あてはまらない	3	0.5%

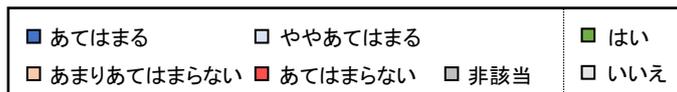


※()内は非該当数を除いたときの割合

		回答数	割合
9 繁殖にあたり、雌牛の性成熟の程度や体格等を考慮して、交配する種雄牛や性選別精液の選択に注意している。	全体	632	100.0%
	あてはまる	551	87.2%
	ややあてはまる	72	11.4%
	あまりあてはまらない	9	1.4%
	あてはまらない	0	0.0%
10 妊娠牛には、分娩前に清潔で快適な環境(敷料、分娩房の提供、適切な気温、衛生等)を提供している。	全体	636	100.0%
	あてはまる	468	73.6%
	ややあてはまる	161	25.3%
	あまりあてはまらない	5	0.8%
	あてはまらない	2	0.3%
11 夜間の分娩に備えた照明、保温及び滑り止めのための敷料等を提供している。	全体	635	100.0%
	あてはまる	505	79.5%
	ややあてはまる	118	18.6%
	あまりあてはまらない	10	1.6%
	あてはまらない	2	0.3%
12 出生した子牛には、24時間以内(最も効果的なのは6時間以内)に良質な初乳を十分量飲ませている。	全体	636	100.0%
	あてはまる	553	86.9%
	ややあてはまる	81	12.7%
	あまりあてはまらない	2	0.3%
	あてはまらない	0	0.0%
13 離乳は、反芻機能の発達に応じて段階的に行い、子牛の成長に影響を与えることなく、良好な飼養環境を確保している。	全体	636	100.0%
	あてはまる	507	79.7%
	ややあてはまる	117	18.4%
	あまりあてはまらない	10	1.6%
	あてはまらない	2	0.3%



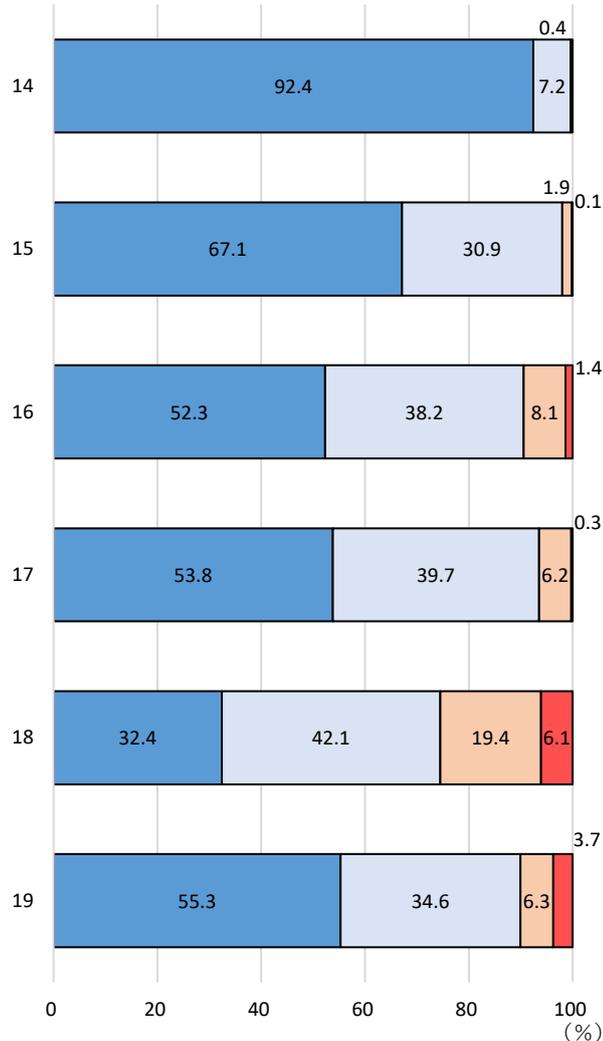
※経営形態として「肥育のみ」を実施している者は、9~13は非該当



○ 飼養管理に関すること

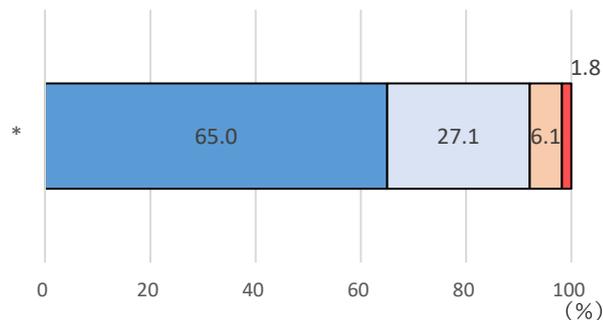
1 管理方法について（続き）

		回答数	割合
14 疾病に罹患した牛又は損傷した牛について、治療等の対応を決めるため、獣医師による速やかな診断を受けている。	全体	741	100.0%
	あてはまる	685	92.4%
	ややあてはまる	53	7.2%
	あまりあてはまらない	3	0.4%
	あてはまらない	0	0.0%
15 牛舎の清掃や消毒等を行い、施設、設備等を清潔に保っている。	全体	742	100.0%
	あてはまる	498	67.1%
	ややあてはまる	229	30.9%
	あまりあてはまらない	14	1.9%
	あてはまらない	1	0.1%
16 家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」を遵守するとともに、「飼養衛生管理マニュアル」を作成し、日常から伝染性疾病の発生予防に必要な知識を習得している。	全体	740	100.0%
	あてはまる	387	52.3%
	ややあてはまる	283	38.2%
	あまりあてはまらない	60	8.1%
	あてはまらない	10	1.4%
17 病原体を伝播する有害動物や吸血昆虫、外部寄生虫の侵入及び発生を防止するとともに、発生時は速やかに駆除している。	全体	740	100.0%
	あてはまる	398	53.8%
	ややあてはまる	294	39.7%
	あまりあてはまらない	46	6.2%
	あてはまらない	2	0.3%
18 アニマルウェルフェアの指標や改善方法について知識を身に付けている。	全体	737	100.0%
	あてはまる	239	32.4%
	ややあてはまる	310	42.1%
	あまりあてはまらない	143	19.4%
	あてはまらない	45	6.1%
19 牛の健康及び良好な飼養環境を確保するため、十分な人数の飼養者等を確保している。	全体	725	100.0%
	あてはまる	401	55.3%
	ややあてはまる	251	34.6%
	あまりあてはまらない	46	6.3%
	あてはまらない	27	3.7%

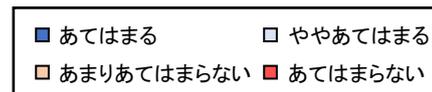


(参考)

		回答数	割合
疾病に罹患し、又は損傷した牛、幼齢又は高齢の牛、体格差のある牛等に注意して牛群を構成し、管理している。	全体	443	100.0%
	あてはまる	288	65.0%
	ややあてはまる	120	27.1%
	あまりあてはまらない	27	6.1%
	あてはまらない	8	1.8%

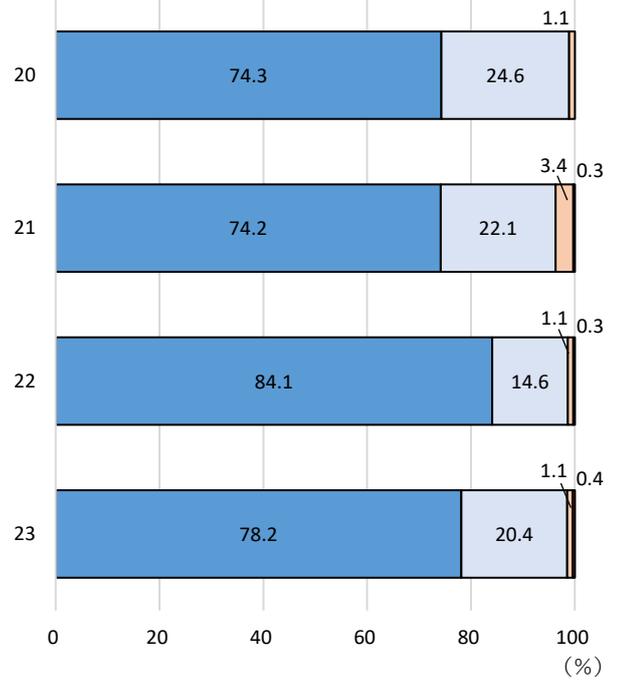


※オンラインフォームでは調査項目として設定できておらず、回答者が紙面調査の協力者のみに限られてしまったため、今回は参考データとして整理。



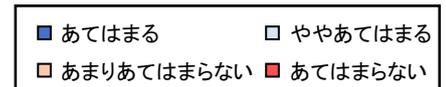
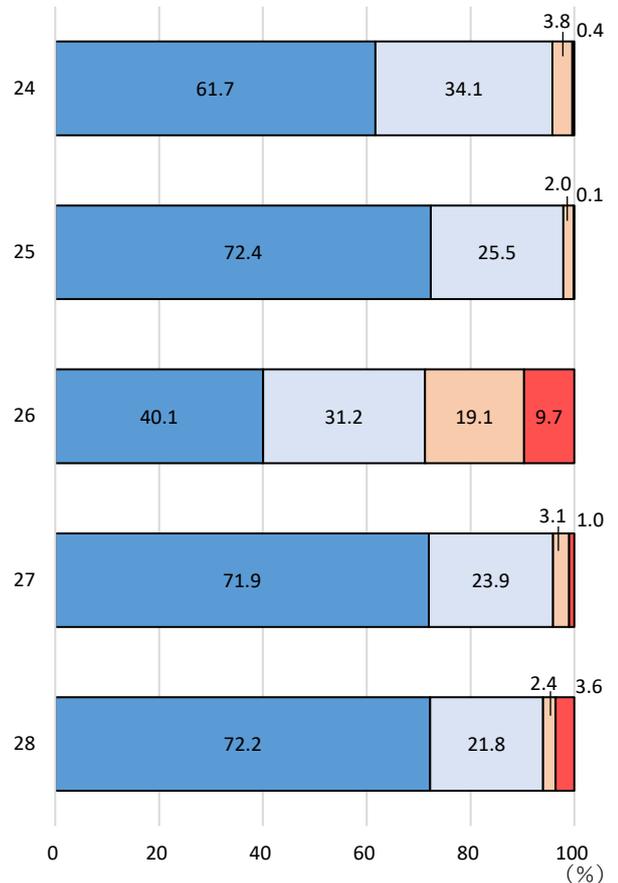
○ 飼養管理に関すること 2 栄養について

		回答数	割合
20 発育段階や肥育ステージ、妊娠ステージ等に応じて、毎日、飼料及び水を質及び量ともに満たすよう給与し、適正なボディコンディションの範囲を逸脱しないように管理している。	全体	755	100.0%
	あてはまる	561	74.3%
	ややあてはまる	186	24.6%
	あまりあてはまらない	8	1.1%
	あてはまらない	0	0.0%
21 粗飼料を一定の割合で給与するとともに、ビタミンAをはじめとする栄養の適切な給与に注意している。	全体	755	100.0%
	あてはまる	560	74.2%
	ややあてはまる	167	22.1%
	あまりあてはまらない	26	3.4%
	あてはまらない	2	0.3%
22 全ての牛が必要な量の飼料、水及び栄養を問題なく摂取できるよう、飼槽や給水器など給餌及び給水の設備を設置している。	全体	755	100.0%
	あてはまる	635	84.1%
	ややあてはまる	110	14.6%
	あまりあてはまらない	8	1.1%
	あてはまらない	2	0.3%
23 給餌及び給水の設備は、定期的に点検及び清掃を行っている。	全体	751	100.0%
	あてはまる	587	78.2%
	ややあてはまる	153	20.4%
	あまりあてはまらない	8	1.1%
	あてはまらない	3	0.4%



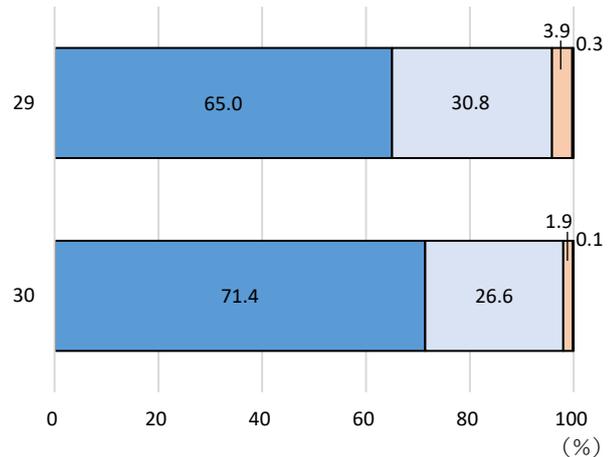
○ 飼養管理に関すること 3 牛舎と飼養方式について

		回答数	割合
24 牛床には敷料があり、清潔で乾燥した横臥場所を提供している。	全体	757	100.0%
	あてはまる	467	61.7%
	ややあてはまる	258	34.1%
	あまりあてはまらない	29	3.8%
	あてはまらない	3	0.4%
25 全ての牛に対して、妨げられることなく横臥し、休息し、起立し、毛繕いするために十分な空間を与えている。	全体	756	100.0%
	あてはまる	547	72.4%
	ややあてはまる	193	25.5%
	あまりあてはまらない	15	2.0%
	あてはまらない	1	0.1%
26 繋ぎ飼い方式で飼われている牛は、繋がれていない状態で運動が十分にできるようにしている。	全体	382	100.0%
	あてはまる	153	40.1%
	ややあてはまる	119	31.2%
	あまりあてはまらない	73	19.1%
	あてはまらない	37	9.7%
27 放し飼い方式の場合、牛同士の闘争や競合による損傷が発生しないよう、よく観察し、飼養密度や牛群の編成に注意している。	全体	581	100.0%
	あてはまる	418	71.9%
	ややあてはまる	139	23.9%
	あまりあてはまらない	18	3.1%
	あてはまらない	6	1.0%
28 放牧している場合、電気牧柵やゲート等、牛への損傷を防止するように正しく設置及び維持している。	全体	331	100.0%
	あてはまる	239	72.2%
	ややあてはまる	72	21.8%
	あまりあてはまらない	8	2.4%
	あてはまらない	12	3.6%



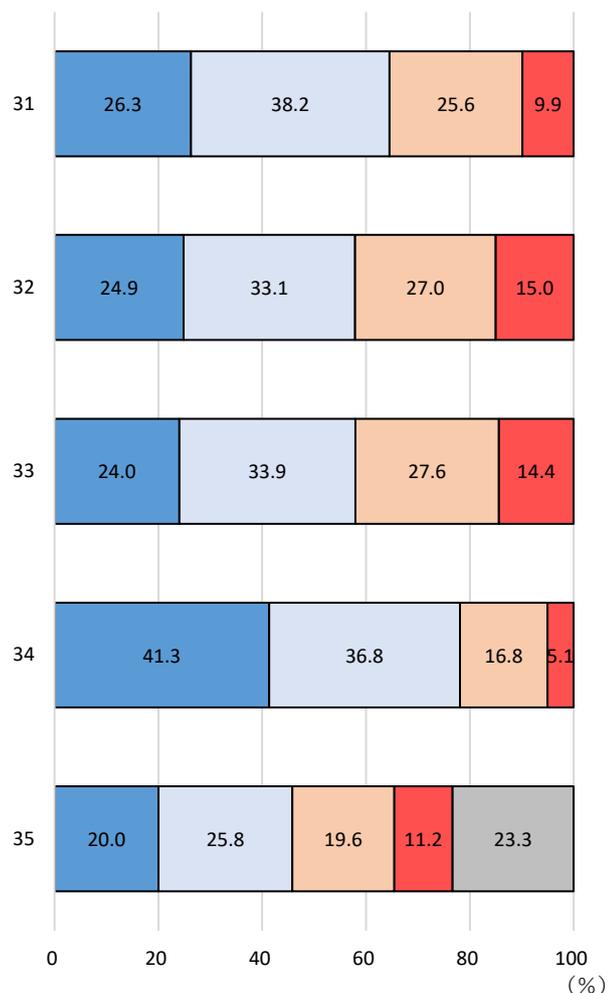
○ 飼養管理に関すること 4 牛舎の環境について

		回答数	割合
29 牛が快適性を維持できるように、暑熱対策や寒冷対策を行っている。	全体	746	100.0%
	あてはまる	485	65.0%
	ややあてはまる	230	30.8%
	あまりあてはまらない	29	3.9%
	あてはまらない	2	0.3%
30 牛舎内でのアンモニアやほこりの滞留がないよう、常に新鮮な空気を供給できるよう適切な換気を行っている。	全体	745	100.0%
	あてはまる	532	71.4%
	ややあてはまる	198	26.6%
	あまりあてはまらない	14	1.9%
	あてはまらない	1	0.1%

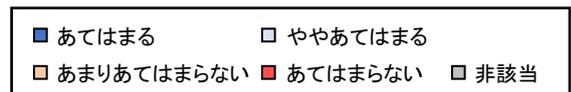


○ 飼養管理に関すること 5 アニマルウェルフェアの状態確認等について

		回答数	割合
31 「肉用牛の飼養管理に関する技術的な指針」に関するチェックリスト等(その他類似するチェックシートを含む)を用いるなど、アニマルウェルフェアの観点で定期的に飼養管理の現状を確認している。	全体	730	100.0%
	あてはまる	192	26.3%
	ややあてはまる	279	38.2%
	あまりあてはまらない	187	25.6%
	あてはまらない	72	9.9%
32 災害による影響を可能な限り小さく抑えるため、危機管理マニュアル(緊急連絡網・緊急時の対応をまとめたもの)等を整備している。	全体	732	100.0%
	あてはまる	182	24.9%
	ややあてはまる	242	33.1%
	あまりあてはまらない	198	27.0%
	あてはまらない	110	15.0%
33 危機管理マニュアル等を習熟するとともに、全ての農場関係者と共有している。	全体	728	100.0%
	あてはまる	175	24.0%
	ややあてはまる	247	33.9%
	あまりあてはまらない	201	27.6%
	あてはまらない	105	14.4%
34 自然災害等の影響により、牛や牛舎等に被害が生じるおそれがある場合、可能な限り、事前に対策をとっている。	全体	731	100.0%
	あてはまる	302	41.3%
	ややあてはまる	269	36.8%
	あまりあてはまらない	123	16.8%
	あてはまらない	37	5.1%
35 警報や発電機などの予備システムは、機器のメーカーの推奨する頻度を考慮し、定期的に点検している。	全体	729	100.0%
	あてはまる	146	20.0% (26.1%)
	ややあてはまる	188	25.8% (33.6%)
	あまりあてはまらない	143	19.6% (25.6%)
	あてはまらない	82	11.2% (14.7%)
	非該当(予備システムを設置していない)	170	23.3%



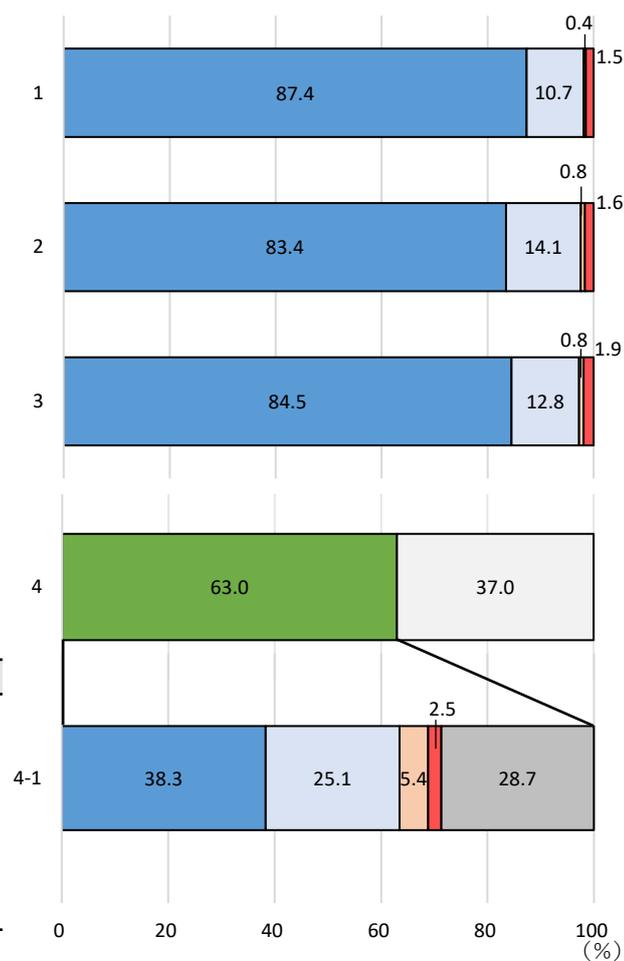
※()内は非該当数を除いたときの割合



○ 輸送に関すること

		回答数	割合
1 家畜の輸送に携わる全ての者が、家畜を丁寧に取扱い、責任を持って家畜を輸送している。	全体	737	100.0%
	あてはまる	644	87.4%
	ややあてはまる	79	10.7%
	あまりあてはまらない	3	0.4%
	あてはまらない	11	1.5%
2 輸送が家畜にとって過度な負担とならないよう、また、不要なストレスを与えないよう注意している。	全体	737	100.0%
	あてはまる	615	83.4%
	ややあてはまる	104	14.1%
	あまりあてはまらない	6	0.8%
	あてはまらない	12	1.6%
3 輸送にかかる総時間は最小限となるようにしている。	全体	735	100.0%
	あてはまる	621	84.5%
	ややあてはまる	94	12.8%
	あまりあてはまらない	6	0.8%
	あてはまらない	14	1.9%
4 家畜の輸送は、運送業者等外部に委託している。 (「はい」を選択した場合、以下4-1に回答)	全体	738	100.0%
	はい	465	63.0%
	いいえ	273	37.0%
	4-1 家畜の輸送を運送業者等外部に委託する際に、委託条件の中にアニマルウェルフェアへの配慮や丁寧な取扱いに関する事項が盛り込まれている。	全体	446
	あてはまる	171	38.3% (53.8%)
	ややあてはまる	112	25.1% (35.2%)
	あまりあてはまらない	24	5.4% (7.5%)
	あてはまらない	11	2.5% (3.5%)
	非該当 (確認できない)	128	28.7%

※()内は非該当数を除いたときの割合



○ 家畜の農場内における安楽死

		回答数	割合
1 獣医師の診断を踏まえ、判断権限がある者がその家畜を安楽死させることを決定した場合、「家畜の農場内における安楽死に関する技術的な指針」を参照し適切に行っている。	全体	719	100.0%
	あてはまる	349	48.5% (67.4%)
	ややあてはまる	106	14.7% (20.5%)
	あまりあてはまらない	36	5.0% (6.9%)
	あてはまらない	27	3.8% (5.2%)
	非該当 (行う機会がない)	201	28.0%

※()内は非該当数を除いたときの割合

